



## 楽しかったね! 歓迎レクリエーション&遠足

今日は絶好の遠足日和となりました。子供たちも朝からワクワクしていました。遠足に行く前には、運営委員会が準備を頑張ってくれた歓迎レクリエーションがありました。歓迎レクリエーションは、Zoomを使って、各学年・学級から工夫を凝らした歓迎のメッセージが流れたり、子供たちが扮した帯西レンジャーが「4つの心」を披露してくれたりして大盛り上がりを見せてくれました。また、学校クイズが出され、1年生にもわかりやすい問題となっていて、盛り上がりはピークを迎えました。そして、レクリエーションの最後に恒例の感想交流を行い、1年生もちゃんと自分の感想を言うことができました。

その後、それぞれの学年はいくつかの遠足の場所に分かれて出発し、それぞれの場所で、帯西グリーン「ともに生きる心」を伸ばすべく友達と楽しく遊ぶことができました。

今日の主役の1年生は、6年生と体育館で対面式を行い、6年生が考えた遊びを一緒に楽しみました。遊んだ後は、1年生と6年生のペアの子供たち同士、学校探検を行ったり、運動場で遊んだりと楽しい時間を過ごし、お弁当やお菓子の舌鼓を打つことができました。

今日の遠足を終えて、子供たちにどんな心が伸びたのかを聞きました。6年生女子は「グリーン的心が伸びました。それは、1年生と一緒に遊んだり、学校のことを教えたりしたからです。」と答え、6年生男子は「イエロー的心が伸びました。6年生としての仕事をきちんとできたからです。」と答えてくれました。また、3年生女子は「ブルー的心が伸びました。それはせまい道でも安全に渡ろうとしたからです。」と答え、そばにいた子供は「レッド的心が伸びました。それは遠足で遠くても自分の足で最後まで歩くことができたからです。」と答えてくれました。

行事もただ参加するのではなく、どんな心を伸ばすために参加するのか自覚的に参加し、その結果どの心が伸びたのかという成長の実感を味わわせることで、子供たちの育ちは大きく違ってくると思います。また、同じ行事でも、成長を実感する心は一人一人違うことが理解でき、多様性も同時に体感できるのです。このようにとらえると、一つ一つの学校行事には、子供たちを成長させるチャンスがたくさん詰まっているのです。

今回、このような素晴らしい歓迎レクリエーションを迎えるにあたって、発足したばかりの運営委員会の子供たちは、帯西イエロー「ともに生きる心」の中の「よりよい学校を創る」ために努力を重ねてくれました。その頑張りに私自身、感謝したいと思います。



大活躍の帯西レンジャー



1・6年生で学校探検



運動場で食べたお弁当